

～「敬老特別乗車証」市ガ検討会で議論～

～「信頼からの撤退」に対する考察⑩～

横浜市は本年5月より敬老特別乗車証のあり方について、「横浜市敬老特別乗車証制度のあり方検討会」(学識家経験者・受益者・公募市民・行政など9名)で議論されている。その中で制度のあり方に対し市民の意識を把握するため、市民アンケートを行い概要が報告された。一部の回答に「敬老パス制度の対象年齢について」は現行制度で良い。と答えた人が約64%、「所得制度を設ける」の問いには、設ける事はやむを得ない。と答えた人が約67%、現行のまま、制限は設けない。と答えた人が約27%となっている。アンケート結果からは市の厳しい財政状況を見た回答とも取れるが、毎日利用される現場実態と回答から、何を望んで求めているかを考察してみたい。

～敬老乗車証の目的と効果は・・・～

日常の買い物、通院、趣味、レジャーに利用されて、交通費負担の軽減、社会参加の促進、街の活性化に役立っているとの答えが多い。敬老乗車証の目的も長年の利用から「社会参加支援」が「外出支援」へ変化して来ていると考えられている。「移動に係る経済的支援」「公共交通の利用促進」の役割も有し間接的な効果は、健康増進、経済効果、高齢者の交通安全などあると言われている。交通局は収支改善策に路線の再編策が取られているが、市民アンケートや募集意見の内容を分析し、交通ネットが利用しやすい形になっているか、利用しやすい交通機関としての整備が問われる。

～バス・地下鉄の利用実態は・・・～

アンケート結果にも現れているが、通勤通学のラッシュ帯が過ぎた時間帯から、お年寄りの利用が増える。主に病院やお年寄りが集まる施設への移動手段として利用されている。病院や施設利用に則したバス路線は利用頻度も多く、日常の買い物・通院目的が主で、次に趣味・レジャー目的の利用をされているのが良く分かる。その利用している交通機関も、市営バスと民営バスで約56%、次に地下鉄21%となっている。

局が行っている高齢者対策は、バスでは福祉対応バス(ノステップバス・20-7付)を83.6%導入、地下鉄は、蒔田駅(平成20年完備予定)を除き全ての駅にエレベーターを設置している。

高齢者が日常の足と利用される交通機関として、目的地の近くまでいけるバスと乗り継ぎを利用し交通ネットが活用出来る地下鉄は、「外出支援」の位置付けからも大きい役割を担っていると言える。

\*統計で横浜は7年後に超高齢社会(65歳以上の比率が14%を超えると高齢社会・21%を超えると超高齢化社会)

～敬老パス制度の維持は・・・～

制度の持続可能性を保つための問いに、対象年齢の引き上げは現行制度(70歳)のままが、約70%、利用者負担は所得に応じた負担額設定は、良いが、約45%、対象となる交通機関を制限するは、現行のままが、約68%、と回答され、利用者負担は所得の高い人はやむを得ないとの認識で、利用メリットはそのままとする意識が伺える。交通機関の制限は生活の実態と外

出実態を踏まえた調査検討が必要と言われている。利用者と事業者（交通局）の負担は重くなると思われるが、超高齢化社会が近くに見えている中で、行政に求められる制度維持の負担のウエートは大きいはずだ。行政分野も含めた経費の削減や乗車証の不正利用防止も考える必要とされている。

～現場はどう関わるのか・・・～

私たち現場の職員は毎日利用される高齢者の方の対応が求められ、安全に利用できるよう転倒事故などに気を配り勤務されている。

19年度予算から乗車料収入を見ると、バスの乗車料収入の約25%が特別乗車証収入で地下鉄は約1.6%です。通勤、通学のお客様だけが収入と考えやすいが、お年寄りも大事な収入源になっている。現在は6人に1人が高齢者と言われ、7年後をピークに増加していく。

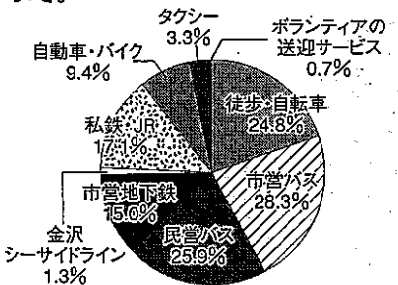
特にバスは高齢者の方と身近に接する事ができる。私たちの対応によって、安心して乗れる優しい交通機関になります。多くの高齢者の方が日常の買い物や通院などに利用される事で、健康的な高齢社会と経済にも効果が生まれ、高齢社会に対して真摯に捉え、安心して乗車されるように対応していく事が、敬老特別乗車証制度の維持や変化、そして、公営交通が担う役割と必要性が問われてくるのではないのでしょうか。

今一度、各自で高齢化社会の中にある公営交通の役割とやるべき事の見つめ直しをお願いしたいと思う。

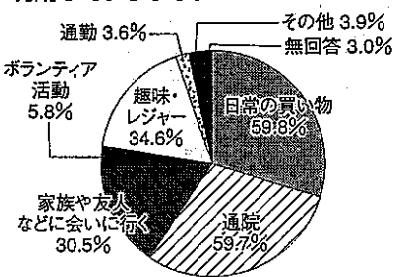
事業者として交通局は利用者の利便性確保や利用しやすい福祉対策、路線編成、そして、事業者負担の減少に向けた対策を行政に求めていく事を期待している。

(横交教宣部)

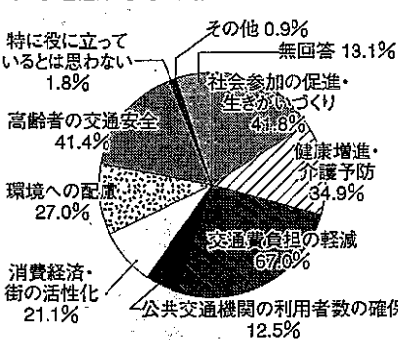
あなたの、外出する際の移動手段について。



あなたは敬老バスをどのような目的で利用していますか。



敬老バスはどのようなことに役立っていると思いますか。



敬老バス制度の利用者負担の考え方についてどうおもいますか。

